

みなでもがみかわを考えよう！ 第2回ワークショップNews



○第2回ワークショップは、令和6年6月12日(水曜日)午後6時30分～午後8時30分に、町民交流センター「虹のプラザ」中会議室で開催しました。

○町民の方々、36名にご参加いただきました。今回はかわまちづくりの想定エリアを3つのゾーンに分け、6グループで各ゾーンの特徴を踏まえて、どんな場所にしていきたいかについて意見交換を行いました。

○幅広い年齢層の参加者が、グループごとに各ゾーンのアイデア等を出し合い、視点を変えて新たな魅力を探して、かわまちづくり支援事業の具体策を考えました。

意見交換1:『“ゾーンのテーマ”を考えよう！』

(それぞれのゾーンの特徴から、大切に思うこと、これからどんな場所にしたいのかを考える)

意見交換2:『かわとまちをつなぐ“具体的なアイデア”を考えよう！』

(“まち”でやってみたいこと、“かわ”でやってみたいこと、まちとかわで一緒にやってみたいこと)

参加者
20代 4名 30代 4名
40代 8名 50代 4名
60代 7名 70代 9名
合計 36名



ー ワークショップの様子 ー



ーワークショップの検討結果(1)ー

- 班ごとに各ゾーンのテーマ案を考え、どんな場所にしていきたいのか、具体的なアイデアを付せんに書出し、話し合いました。

Aゾーン(大石田大橋周辺)

【キーワード】

- ・川に映る景色が印象的だった
- ・川の駅
- ・写真スポットになりそうな場所にしたい
- ・食が体験できる場所



【キーワード】

- ・舟運文化や銀山と関連した歴史を伝えていきたい
- 資料館の認知度をあげたい
- ・特殊堤や舟役所跡に人を集めたい
- ・駅からアクセスしやすいかたちにしたい

Bゾーン(下河原公園周辺)

【キーワード】

- ・子どもが安全に遊べる場所にしたい
- ・冬はスノーパークにするなど雪を活用できる場所にしたい
- ・スポーツ(スケボー・テニス・ランニング等)できる場所にしたい
- ・桜と菜の花で花見の場所にしたい



【キーワード】

- ・舟運関係の文化継承が必要
- ・花火大会を継承していきたい
- ・桜並木整備や桜祭りの実施、菜の花も植える等自然を愛する環境整備をした

ーワークショップの検討結果(2)ー

Cゾーン(大石田特殊堤下流側)

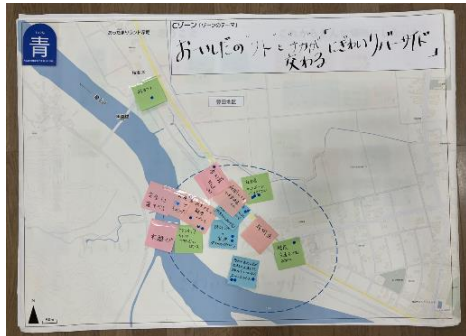
【キーワード】

- ・アクティビティ(サイクリング・バスケットコート・キャンプ場・アスレチック等)のできる場所にしたい
- ・川遊びや水路など自然に触れられる場所がほしい
- ・近隣の温泉施設との連携があるといい



【キーワード】

- ・花火大会、そば街道、桜並木、新幹線停車駅
- ・地元住民向けにカフェやキッチンカー・バー等、訪問客向けには(イベント等の)宿泊や体験ができるスペースが存在するところをしたい



「次回の小学生のワークショップが楽しみ！」



「こんな意見がありました！」

「“何もない”がデメリットではなく、メリットに感じたわ！」

「“農”で生産したものを川で食べられるようにしたいな！」

「流れが分かり易くて良かった！」

「様々な意見が出て参考になったわね」

「実際に計画がスタートしてから、住民が参加できる機会がほしいよね！」

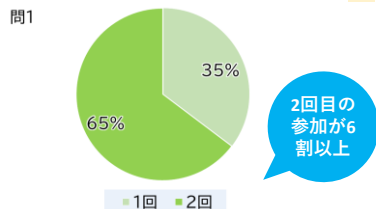
「複雑な動線では、なかなか人は動かんよ！」

「長期的なメンテナンスができることを前提に考えてほしいな」

「大橋の架け替えや周辺の事情も知れると、より良いアイデアを出せたかも…」

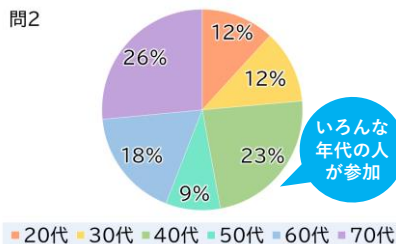
ーワークショップアンケート結果ー

問1.「もがみがわを考えようワークショップ」への参加回数を教えてください。



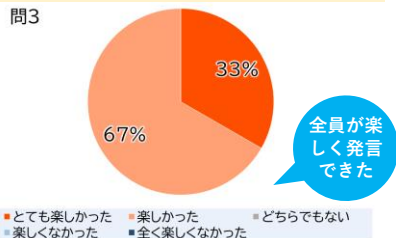
2回目の参加が6割以上

問2.あなたの年齢を教えてください。



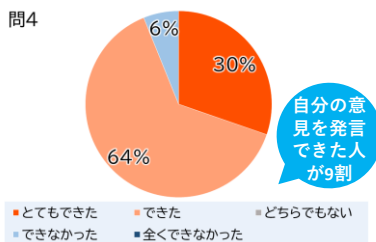
いろんな年代の人が参加

問3.本日のワークショップは楽しく発言できましたか？



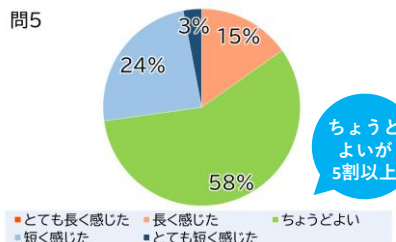
全員が楽しく発言できた

問4.ご自身の意見を十分に発言できましたか？



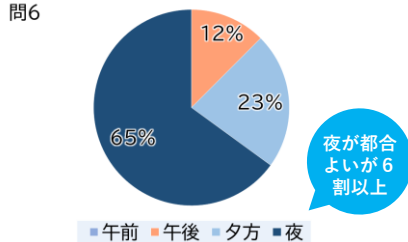
自分の意見を発言できた人が9割

問5.ワークショップの時間の長さについて、どのように思いますか？



ちょうどよいが5割以上

問6.ワークショップ開催の時間帯について、どのように思いますか？



夜が都合よいが6割以上

- 町民の間では、どの世代にもかわまちづくりに対する継続的な関心を持つ人がいることが分かりました。また、前回と同様、かわまちづくりに対してポジティブな意見が多く、町民の意欲（ポテンシャル）が高いことが改めて分かりました。

- ・ ワークショップの参加者は、第1回から継続して参加している人が半数以上を占め、かわまちづくりに関心を持っている人が多いです。年齢層は40代、60代及び70代の人たちが多く、20代から70代の幅広い年代の人たちが参加しました。
- ・ ワークショップの雰囲気は「楽しかった」と「とても楽しかった」が10割で、ワークショップの発言は「意見を言うことができた」と「とてもできた」が9割を占めています。活発なアイデア出しと意見交換が行われました。